

第7章 エステティックの未来と専門職としての責任

7-1 変化する美容環境の中で求められるもの

近年、美容を取り巻く環境は大きく変化しています。

美容医療の普及、高度な美容機器の登場、セルフケア商品の発展、SNSによる美容情報の拡散などにより、顧客が美容サービスを選択する環境は大きく広がっています。一方で、情報が容易に得られる時代だからこそ、顧客が正しい情報を見極め、安全なサービスを選択するための支援が重要になっています。

これからのエステティックには、単に美容技術を提供するだけではなく、専門的な知識に基づき、顧客に適切な情報を提供し、顧客の身体や肌状態を見極めたうえで安全で適切な施術が受けられるように支援する役割が求められます。

7-2 エステティシャンに求められる専門性

エステティシャンの専門性は、施術技術だけで評価されるものではありません。

これからの時代に求められる専門性とは、以下のような総合的な能力です。

① 正確な知識

肌や身体に関する基礎知識、美容機器や化粧品に関する知識、衛生管理に関する知識などを継続的に身につけることが必要です。

② 適切な判断力

顧客の希望を尊重しながらも、安全性を最優先に考え適切な施術を選択し、必要な場合には施術を見合わせる判断力が求められます。

③ 説明する力

施術内容、期待できる範囲、注意事項、リスクについて、顧客に分かりやすく説明する能力が重要です。

④ カウンセリング能力

顧客の悩みや希望を正しく理解し、施術時の心身状態を捉えて、その方に適した施術や美容ケアを提案する能力が必要です。

⑤ 倫理観

美容への期待に寄り添いながらも、顧客に過度な期待を抱かせない誠実な姿勢で寄り添うことが望まれます。まずは顧客とのコミュニケーションを確立することを優先して、心身の状態に侵襲を与えない施術を提供する倫理観が求められます。

7-3 カウンセリングは専門職の中心的役割である

エステティックにおけるカウンセリングは、単なる接客ではありません。

顧客の来店目的、生活背景や健康情報を理解し、顧客の心身を観察、肌・身体状態の観察を踏まえて安全に適切な施術を提供できるかどうかを判断するための専門的なプロセスです。特に、医療との境界が注目される現在では、カウンセリング能力の重要性はさらに高まっています。

例えば、

「この施術で治りますか」

「医療と同じ効果がありますか」

「短期間で必ず変化しますか」

といった質問に対して、適切な説明を行うためには、知識だけでなく判断力とコミュニケーション能力が必要です。

エステティシャンは、顧客の期待と現実の間をつなぐ重要な役割を担っています。

7-4 専門資格・教育制度の重要性

専門職として社会的信頼を得るためには、教育制度や評価制度の充実が不可欠です。

技術や知識を客観的に評価する仕組みは、エステティシャン自身の成長を支えるだけでなく、顧客が安心してサービスを選択するための目安にもなります。

特に、カウンセリング能力は、安全な施術提供の基盤となる重要な能力です。

顧客の健康情報に基づいて施術前にその心身状態を観察、確認し、施術についてリスクを含めた適切な説明を行い、必要に応じて医療機関への相談を勧める判断力は、これからのエステティシャンに欠かすことのできない専門能力です。

7-5 医療との連携による新しい可能性

エステティックと医療は、それぞれ異なる役割を担っています。

しかし、両者が適切な関係を築くことで、顧客の生活の質向上を推進しより良いサービスを提供できる可能性があります。

例えば、

- ・ 医療機関での治療後の美容的ケア
- ・ 健康維持を目的とした美容サービス
- ・ 心身のリラクゼーション
- ・ 生活習慣改善への支援

など、エステティックが果たせる役割は多くあります。

重要なのは、医療の領域に踏み込むことではなく、自らの専門性を高め、適切な役割を果たすことです。

7-6 未来のエステティックを支えるもの

これからのエステティック業界に必要なのは、「できることを増やす」ことだけではありません。

「何を大切にするのか」を明確にすることです。

- ・安全性。
- ・衛生管理・・感染対策。
- ・正確な情報提供。
- ・顧客への誠実な対応。
- ・専門職としての倫理。

これらを積み重ねることによって、エステティックは社会からさらに信頼される存在になります。境界を理解し、自らの専門性を磨くこと。

それが、エステティックの未来を切り拓く力になります。

7-7 本章のまとめ

エステティックの未来は、技術革新だけによって築かれるものではありません。

専門的な知識、適切な判断力、誠実なカウンセリング、安全を守る姿勢。

これらを備えた専門職が増えることで、エステティックは社会に必要とされるサービスとして発展していきます。